

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書  
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 福井県立高志中学校

豊かなスポーツライフを継続する能力を育てる

＜保健体育の授業について＞

- ・ 様々な運動について、自己の能力に応じた目標を設定する。
- ・ 各種目の特性を理解し、審判法の習得も含め、自らゲームを運営できる能力を養う。
- ・ 体力テストで課題となった反復横跳びと上体起こしの体力向上を目的として、準備運動の中に補強運動として取り入れる。
- ・ 保健の授業において、健康や安全についての理解を深め、日々の生活の中で運動に取り組もうとする意欲や健康を維持しようとする姿勢を持たせる。
- ・ 1年生はスポーツの紹介、2年生は国民体育大会、3年生はオリンピックをテーマにレポートを作成する。

＜特別活動について＞

- ・ 体育祭や部活動など高校生とともに活動する中で、お互いに認め合い、他者を尊重する態度を養う。

＜運動部活動について＞

- ・ 昨年度より、本校では自主的・自発的に活動する意思を持って部活動に加入することとなった（部活動に全生徒加入とせず、部活動加入を希望制とする）。  
※部活動は学級や学年を離れた集団の中で、互いに認め合ったり高め合ったりする大きな意義があるため、入部を前向きに検討するように呼び掛けている
- ・ 高校生と一緒に活動したり、中学3年生の高校への仮入部を設けたりすることで、中高一貫校ならではの6年間を見据えた部活動の体制を構築していく。
- ・ 平日に1日（火曜日）、週休日に1日（原則日曜日）部活動休養日を設ける。

＜その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）＞

- ・ 身体活動をしないときはマスク着用を徹底し、新型コロナウイルス感染防止を実施する。
- ・ 可能な限り対面を避け、一定距離を取るよう工夫し、授業を展開する。
- ・ 保健室だより等で、怪我・病気の予防や水分補給の大切さを呼びかける。
- ・ 栄養教諭との連携による「食育」指導や養護教諭からの基本的な生活習慣の大切さに関する指導を実施し、身体づくりの基本についての理解を促進する。
- ・ 障がい者スポーツを体験する機会を取り入れる。

（しあわせ福井スポーツ協会の方に指導をしていただく予定）